

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 21日

事業所名 SST School Kokopelli

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	小グループにて活動の効率化を図っている	個別・集団の区切り、来客用のスペースの確保が難しい
	2 職員の配置数は適切である	○			会議等で時間が合わず、重要事項の確認が出来ないことがある
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関外の段差があり、手すりがない
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ミーティングや送迎後の振り返りを実施している	全体の流れがわかりづらい
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに掲載しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎年度年間の、研修を受けている。	鹿児島県での発達障害に関する研修が少ない	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		事前情報や保護者同伴の際の見学時にアセスメントをとっている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			全体で利用できるアセスメントツールがほしい
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			職員全員が集まる日の確保が難しく、正職員で立案することが多い
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節ごとの行事活動を実施している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			細かく決める時間が作れない。(タイムスケジュール等)
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		昼礼を行うようにしている	非常勤を含め、時間の有効活用ができていない
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援内容から利用者の反応まで細かく記録している	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		昼礼時間を有効活用している		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管と現場職員が出席している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			現在不登校児の受け入れもしている為、学校との連携の工夫が重要。学校復帰での受け入れなのか、行き場所の確保なのか。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	極力、対象児の学校との取り取りは行っている	担当者会議やケース会議に学校や関係機関等携わっているすべての機関が出席してほしい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		移行先への事前情報は必ず提供している	学校や関係機関の方からも情報共有の発信源になってほしい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	地域イベントの出演が増えてきている	地域での福祉イベントの充実化を図ってほしい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		部会は極力出席している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時に関わらず、事業所内相談や定期的なモニタリングを行っている	茶話会など保護者が集まりやすいサロンをやってみてはどうか
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		外部講師をお招きし、ペアレント・トレーニングを定期的で開催している	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		内容等かみ砕いて説明は行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			事業所内相談等のサイクルを多少改善が必要
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		定期的に保護者同伴の行事を実施している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事等は事前に家族への案内を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	○		職員にも個人情報取り扱いに関しての同意書を頂いている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者の置かれている心境等、十分に考慮し情報伝達を行っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	社内研修等で定期的に周知している	全マニュアルを事業所内に掲示が必要
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的実施されている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	毎年、研修に行かせて頂いている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束の基準がいまいちわからない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	インテーク時に聞き取りをしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	毎月、ヒヤリハットをあげ報告している	